

	活動の基本目標（指針）	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	安全・衛生の確保	避難訓練	いろいろな場面を想定して進めることができたため、命を守るための行動が着実に身に付いてきている。実際に、子どもたちの帰館後に地震が発生したこともあったが、その際も、子どもたちは自らダンゴムシの姿勢になり机の下に入って身を守ることができていた。今後も毎月訓練を重ねながら、「もしも」の時のために、利用者と職員がともに、災害時への備えや知識を深めていけると良いのではないかな。
	健康の管理・情緒の安定	ロッカーそうじ	月に1回ではあるが、しっかりと取り組んでいた。声掛けがないと進められない子どももいたが、自分のことは自分で管理できるよう意識して取り組んでもらえるように、整理整頓に関しても都度声掛けをしていきたい。（ロッカー掃除の日には整理整頓の声掛けを強化。ロッカー内が綺麗な状態で下館できるよう確認する。）
		クリーン活動	子どもたちは毎回よく頑張っており、特に秋の落ち葉が多い時期は大変な作業も多い中であつたが、楽しみながら活動している子どもが多かった。暑さや寒さの厳しい時期は控えながらであったが、次年度も天候等見ながら無理なく進めていけるとよいのではないだろうか。今後も、地域を自らの手で綺麗にしながら、奉仕活動の気持ちよさを子どもたちに感じてもらいたい。
	基本的な生活習慣の確立	交通安全教室	今年度は夏休み前に行うことができ、学校の長期休業前に安全についての意識を高めることができてよかった。次年度も同じ時期に行うことができるよよいのではないだろうか。（高学年向けに、一部内容を検討してみても良いかもしれない。警察署の方と相談していきたい。）
		防犯教室	警察署のスクールサポーターの方に協力をしていただき、クイズ等交えながら話をしていただいた。みんなで、防犯についての知識を深めることができた。次年度も取り入れていきたい。（特に日没が早まる11月や12月にかけて行えると良いのではないだろうか。）
	社会生活技術の獲得	大そうじ	年末に、窓や玄関、おもちゃや本棚など、普段なかなかできない部分も綺麗にすることができた。時間をかけての大掃除だったが、最後まで頑張る子どももいれば、途中で手持無沙汰となり遊んでしまう子どもも見られた。しかし、1年間過ごした館内を綺麗にして、みんなで気持ちよく新年を迎えることができるよう、年末の一つのイベントとして今後も続けていけると良いのではないだろうか。
		防災避難訓練	消防署や地域の自主防災会等と連携して大規模な訓練を行い、二次避難として小学校への移動も行いながら、実際の動きをみんなで確認することができた。より緊張感をもって取り組むことができ、防災への意識を高めることができたのではないだろうか。今後も、こうして署や地域の見守りをいただきながらの訓練を続けていきたい。
生活体験の拡大	おはなし会	「京都お話を語る会」の方によるやさしい語りや読み聞かせに、気持ちよさそうに聞き入る子どもの姿が見られた。感性や想像力を豊かにすることにも繋がる行事であり、今後も続けていきたい。	
	入会式に向けた取組	練習の中で、入会・進級への意識を高めることもできたのではないだろうか。司会や出し物の練習については、年度末頃からスタートしても良いかもしれない。	
社会性の養成	入会式	温かく和やかな雰囲気の中、みんなで新入生の入会をお祝いすることができた。2年生以上の子どもにも全員に役割を持ってもらうことで、進級への意識や仲間を迎え入れることへの気持ちがいっそう高まったのではないだろうか。開始時間ぎりぎりの来館とならないよう、家庭へのおしらせには集合時間（13:50）を明記しておく、職員も焦らず対応できるのではないだろうか。（当日初めて出席の新入生もいるため、入場時の説明等、余裕を持つての対応が必要となる）	
	ダンス練習	宝ヶ池公園でのイベントに向けて、有志で取り組むことができ、楽しみにしながら練習に励む子どもたちの姿が見られた。みんなで当日に向けて気持ちを高めながら進めることができた。	
	3年生会議	毎回良い意見が聞かれたが、積極性や役割の担当回数に差ができてきていた。お誕生日会などはやる気のある子どもに任せつつ、他の子どもについてはこれ以外で任せられそうなことを検討していっても良いかもしれない。	
	なかよしデー	全員で一度に行うことが難しく、今年度も2グループに分かれて進める。どの取組も楽しんでた。次年度は、企画や進行を3年生に担当してもらう形で進めていきたい。	
	お誕生日会	毎回みんなで楽しむことができていたが、内容が盛りだくさんとなり、クイズやお楽しみ企画も全体的にせかせかと進めることが多かった。最後のおやつは時間に余裕がなく、急いで食べなければならぬこともあった。次年度は、お楽しみ企画の部分を「なかよしデー」にて行うこととし、余裕をもって進めていきたい。	

	「左京・東山児童館学童保育所まつり」への参加	雨天のためステージ発表はやむを得ず取り止めたが、コーナーを回ってみんなで楽しむことができた。（ステージ発表は再度9月のイベント時に行く）
	養正プチプチ農業部	水やりや草抜きなどしながら、みんなでお花や農作物のお世話をすることができた。成長を日々見守り、収穫してから食するまでの体験はとても貴重なものであり、自然や食事への感謝も育まれたのではないだろうか。今後も継続していきたい。
	公園にいっチャウデー	公園でのびのびと遊びを楽しむことができ「楽しかった」の声が多く聞かれた。今年度から場所を変更したことで、遊具でも遊ぶことができ、自由時間も手持無沙汰になる子どもはほとんどいなかった。次年度も気候等みながら、継続していきたい。
	「ようせいスタンプラリー」への参加	いろいろなコーナーを回り、スタンプをもらって喜ぶ子どもたちの姿が見られた。館からもコーナーを出し、楽しんでもらうことができた。次年度も、このような学校PTA主催のイベントに積極的に協力しながら、盛り上げていけると良いのではないだろうか。
	エコでアートなワークショップ	廃材を使った工作などを行い、子どもたちは楽しんで参加していた。同時に、環境問題への理解や知識を深めることもでき、地球にやさしい取組となった。今後も機会があれば、実施していけると良いのではないだろうか。
	左京・東山児童館学童保育所なかよし卓球大会への参加	他館の子どもたちと交流しながら卓球を楽しむことができた。当日までに、友達や職員と対戦しながら練習に励む子どもたちの姿が見られ、とても盛り上がった。これをきっかけに卓球に初めて取り組んだ子どももいるなど、良い刺激を受けていたようだ。次年度も参加できると良いのではないだろうか。
	体育館で遊ぼうスタッフ会議	地域体育館での集団遊びについて、子どもたちは積極的に意見を出して、企画や準備を進めてくれていた。意欲的な子どもたちが集って取り組める機会をこれからも大切にしていきたい。
	おかいものごっこ	各自お金チケットを持って好きなお菓子をお買い物することができ、子どもたちはとても喜んでいて。友達と楽しさを共有しながら、おいしそうにおやつを食べる姿が見られ、良い取組となった。3年生以上のお店番担当者には、事前の買い出しからお願いをすることで、取組に向けて気持ちを高めながら準備を進めてもらうことができた。当日は、準備や下級生への声掛けなど、動きに上級生としての自覚も感じられた。今後も続けていきたい。
	館外活動「大阪市立科学館」	コロナ禍が落ち着き、久しぶりの遠方への外出となる。大阪の施設にて、科学の不思議をみんなで体験することができて、子どもたちは喜んでいて。館内はもちろん、移動中のマナーを知る機会にもなり、楽しみながらも、学びの多い活動となったのではないだろうか。事前に下見もしっかりと行うことができ、当日は全員で楽しんで無事に帰館することができてよかった。次年度も館外活動を行っていただけると良いが、夏期の実施に関しては、暑さが厳しいため検討が必要なのではないだろうか。場所をよく検討する、もしくは6月や10月の学校行事代休日を利用して実施してもよいかもしれない。
	水あそび	庭での水あそびを、水着で思い切り楽しむことができていた。この時期ならではの取組であり、今後も続けていけると良いのではないかと。
	3年生・高学年会議	「プチ夏まつり」に向けた話し合いは、子どもたちが積極的に意見やアイデアを出してくれて、企画や準備もそれぞれが思いをもって進めてくれていた。年度末の会議に関しては、いろいろな意見や要望を出してはくれたが、そのためにはどうしていけばよいのかというところまで話を進めることができなかった。もう少し時間に余裕がもてることで、もっと建設的な会議に繋がれたのではないだろうか。こうして3年生以上の経験を積んだ子どもたちが集まって話し合える場はとても有意義であり、今後は早い時期から日程を検討して、時間に充分な余裕がもてる日に設定していきたい。
	体育館で遊ぼう	子どもたちが企画・準備を進め、みんなで集団遊びを楽しむことができた。時間は少し押したが、広い館内でのびのびと体を動かして遊ぶことができ、良い取組となった。事前準備に時間がかかり、かなりバタバタとしながら当日を迎えることとなったため、今後は、自由遊びをメインとして実施しても良いかもしれない。
	プチ夏まつり	3年生以上の子どもたちが協力しながら企画・準備を進め、当日は、友達といろいろなコーナーを回って楽しむ子どもたちの姿が見られた。今年はコーナー数を少し減らして、当番側も回る側も余裕をもって楽しめるよう工夫した。特におぼけやしきは今年も盛況であり、他のコーナーも賑わっていた。こうして子どもたちの手で、時間をかけ企画から当日までを進めることで、達成感や満足感を得ることができたのではないだろうか。この経験が、その後の活動にも生かされており、大きな成長が見られた。今後も無理のない形で継続していけると良いのではないだろうか。
自立の促進と自主性の尊重	デルタフェスティバルへの参加	地域のイベントに参加して、ステージ鑑賞をしたり、コーナーを回って楽しむことができた。地域を知るきっかけにもなりよかった。また機会があれば、参加して楽しめると良いのではないだろうか。

	ダンス発表	地域のイベントに参加し、有志でのステージ発表を行う。当日を楽しみに練習にも励むことができ、地域のステージでのびのびとダンスを披露する子どもたちの姿が見られた。保護者も楽しみにしておられた。今回の出演は、館での取組を地域に知ってもらうことにも繋がったのではないだろうか。また機会があれば参加して、一緒にイベントを盛り上げていきたい。
	食品ロス削減講座	学生の方々に協力いただき、紙芝居やクイズなどを交えながら、食品ロスについて話をさせていただいた。真剣な表情で話に聞き入る子どもたちの姿が見られ、学びが多かったように思う。今後のロス削減や対策にも繋がる良い機会だったのではないだろうか。今後も機会があれば、このような話を聞かせていただき、環境や飢餓などいろいろな問題について考えるきっかけになると良いのではないだろうか。
	京都御所児童公園に行こう！	徒歩で御所の公園へ向かう。約30分かかったが、子どもたちはよく歩き、その後も広い公園で活発に遊びを楽しんでいた。気候の良い時期であり、こうした屋外での活動はみんなで気持ちよく過ごすことができた。途中、虫刺されで診察を受ける子どもが出たため、屋外での活動に配慮した服装を事前に一言呼びかけられると良いかもしれない。また、今後は夏期の館外活動を、このような気候の良い時期に入れてみても良いのではないだろうか。
	ワイワイフェスタダンス発表	「ワイワイフェスタ」にて有志によるステージ発表を行う。意欲的な子どもが多く、練習時も楽しみながら参加する子どもたちの姿が見られた。大きなステージであり、当日は緊張の中だったが、子どもたちは笑顔でのびのびとダンスを楽しんでいた。終わると、ホッとした表情からは、達成感や満足感が感じられた。客席からも、体を動かしながら一緒に楽しむ姿が見られ、イベントを盛り上げることでよかったです。子どもの成長にも繋がる大きな経験ともなるため、今後も継続していけると良いのではないだろうか。（内容は検討）
	出し物発表	クリスマス会にて、マジックやけん玉など、希望者が得意なことをみんなの前で披露した。練習も継続的に取り組み、当日は緊張も見られたが、こうした場での経験は、その後の自信に繋がる良い機会でもある。今後も、このように、子どもたちが輝ける場をたくさん作っていきたい。
	新春ゲーム大会	羽根つきやカルタ、福笑いなどの新春あそびを行う。季節を感じながらみんなで楽しむことができてよかった。今年度は、後半に公園へ出掛ける。寒さを吹き飛ばすように、活発にのびのびと遊ぶ子どもたちの姿が見られた。次年度もこのような形で継続してみて良いのではないだろうか。
	修了制作	壁掛けフォトフレームを制作。写真を入れて、1年間の思い出を形にすることができた。いろいろな形の制作はあるが、写真を使っただけの制作は、1年間を振り返りながら取り組むことができ、保護者にも喜んでもらえるのではないだろうか。次年度も、何か思い出に残るようなものを考えていきたい。
	学年会議	各学年、1年間を振り返りながら話をする事ができた。学年ごとに日を分けて行ったが、3月は他の取組も多く、会議を入れられそうな日が少ない。余裕をもって進めていけるよう、授業の兼ね合いも見ながら、2月頃から少しずつ入れていく方向でも良いのではないだろうか。（特に2年生は修了式での取組もあるため、早めに設定した方がその後の取組にも余裕もてるのではないだろうか。）
	修了式の練習	式の流れや動きを全体で確認することができた。2年生は個別での練習も行いながら、当日に向けて準備を進めた。練習できる日がかかり限られており、今後は、もっと早い時期から練習をスタートしていけるように計画していきたい。
	修了式	前半の遊びは、保護者も一緒に全員で取り組むことが難しかった。人数も多く、できることも限られてくるため、次年度は行わない方向でも良いかもしれない。スライドショーや各学年の発表は、保護者の方にも喜んでいただくことができ、それぞれ1年間を振り返りながら次への意識を高めることもできてよかった。後半はダンス発表や、みんなで一つになって取り組めた歌とともに、温かな雰囲気の中で式を終えることができた。大きな節目を、こうした内容とともにみんなで祝うことができ、良い取組だったのではないだろうか。次年度も継続して取り組んでいきたい。
	すこやかサロンとの交流	夏期と年度末に、すこやかサロンのご高齢の方と交流をする。遊びを交えながらふれあいを深めることができ、サロンの方々もとても喜んでくださっていた。今後も、このように顔を合わせられる機会を設けていきたい。
子育てに必要な情報の提供と交換	保護者懇談会	夏休み前と冬休み前に、子どもたちの様子や長期休業中の学童クラブでの生活について保護者に話をする。新年度がスタートしてからの様子、夏休みが明けて秋～冬と過ごす中で見られる子どもたちの成長などを伝えることができ、時期的にも良かった。特に12月は初めてだったが、保護者同士互いに顔を合わせた交流や情報交換ができ、ゲーム性を取り入れた企画も盛り上がった。今後もこのような形で続けていながら、保護者同士がふれあいを深められる機会を積極的に設けていきたい。

子育て支援機能	子育ての仲間づくり	個人懇談会	子どもの家庭での様子や児童館での様子を保護者と共有することができ、その後の子どもや保護者との関わりに繋げることができた。このような機会ではなければできない話をすることもでき、保護者の悩みや困りを取り除いてあげられる一助となれたのではないだろうか。館から懇談希望のご家庭の保護者には、職員から早めに声を掛け、都合をつけていただいてもよいかもしれない。
		お弁当いらないデー	館にて準備した昼食をみんなで食べることができ、食べることの楽しさやおいしさをみんなで共有しながらランチタイムを過ごすことができてよかった。お弁当の準備による保護者の負担を軽減することもでき、喜んでいただくことができた。次年度も取り入れていけると良いが、予算の関係で内容が大きく制限されるようであれば、無理をせず、食事の一部を館にて用意する形にしてみても良いかもしれない。（例えば、おかずは館で用意、ごはんのみ家庭から用意してきてもらうなど）
	子育てを支えるネットワーク形成	親子でメノコト元気教室	「わかさ生活」からの協力をいただきながら、みんなで目の健康についての理解と知識を深めることができた。体操やゲームなども交えながら学ぶことができ、最後には試食会も行っており、子どもにも保護者にも楽しんでいただくことができた。しかし、学校行事と重なり、やむを得ず午後からのスタートとなったため、参加者は少なめだった。今後は、土曜日であれば午前に行う方が参加しやすいのではないだろうか。（学校でのイベント等を早めに把握。そこを踏まえて日を確定していく。）今後は、様子を見ながら、食育指導員の方に協力いただいで親子クッキングや、親子ボウリングなどの企画も検討していきたい。
		入会説明会	新規申請家庭の保護者を対象に、学童クラブでの生活などについて、資料をもとに詳しく話をすることができてよかった。現在インターネットでの申請が主となっているため、保護者や子どもと対面できるタイミングがなかなかないが、この機会に来館していただくことができるため、このような意味でも、保護者・子ども・職員にとって貴重な機会だったのではないだろうか。両日とも都合がつかない保護者が見られたため、できる限り都合をつけていただき、2日間のうちどちらかの日には必ず出席していただく形で次年度も呼びかけをしていきたい。
		スライド上映	希望者は少なかったが、館での子どもたちの様子を写真で伝えることができる良い機会となり、喜んでいただけた。次年度も続けていけると良いのではないだろうか。